



議会だより

第115号

かわさき

平成26年8月1日発行
福岡県川崎町

老いも

若きも

競技に熱中!!



地域ふれあいカローリング大会

6月
定例会議

議員定数 1 名減可決	2
予算決算常任委員会初審議	4
8人の議員が登壇 ～一般質問～	6

今年度の議会だよりの表紙は、〈汗〉がテーマです。

頑張るみなさんの輝く汗の写真のご応募をお待ちしています。

川崎町役場 議会事務局 ご持参または郵送下さい

【お問い合わせ】 議会事務局 ☎72-3000（内線318・319）

議員定数1名減可決 来年春の選挙より16名に

区長会より議員定数5名減の 要望書が出る

本町議会の議員定数は、町制施行時の30名から町の財政状況や人口減を考慮して順次定数を減らし、平成23年には、それまでの19名を2名減らして17名にして選挙が行われ今に至っていました。

しかし、今年の2月25日付けで「川崎町行政區長会」より「現状の17名を5名減らして、12名にして欲しい」旨の要望書が議会宛に提出されました。

区長会の要望書によると①町財政の負担を軽減する。②県内同規模の自治体は議員一人当たり1300人の人口比になっているが川崎町は1000人程度である。③定数を減らすことにより一人当たりの議員歳費を増額し活動がしやすくなることにより、若い世代も選挙に出やすくなる。といったことが要望の要旨になっていました。

要望を受け議会内で慎重に 協議・区長会にも面談要請

区長会からの要望書を受けて議会は、3月定例会にて議会運営委員会に付託を決定、その後今年の4月1日から6月12日までの間、議会運営委員会を4回、全員協議会を6回開き、慎重に協議を重ねてまいりました。

その間、区長会の考えの詳細を確認したいということ、議会の考えに理解を頂きたいとの趣旨により5月23日に面談を申し入れましたが、区長会からは「議会との意見交換はやらない」と回答があり面談には至りませんでした。

6月定例会にて1名減を 全会一致で可決

議員定数削減の付託を受けた議会運営委員会の審議では、意見が分かれたため採決を行い、賛成4、反対4の同数となり、委員長採決の結果、定数を削減することに決定しました。

その後、来年春の選挙まで期間がないことから、全員協議会で意見調整をしながら、議会運営委員会から1名減の条例改正案を6月の本会議に提案し、全会一致で可決されました。

〔※議会内(議会運営委員会、全員協議会)での賛成、反対の意見の内容は別項をご覧ください。〕

別項

議員定数削減反対の意見要旨

定数削減は町政への住民参加の門を狭くし、必ずしも町の発展にはつながらない

- 議員の定数を削減することになれば議会への門が狭くなり、若い世代にとっては参加する可能性が低くなる。
- 財政上の問題に関しては、現在の報酬を下げることで等々対応し町民の思いに応える。
- 川崎町の議員1人当たりの人口は約1000人で郡全体の平均約800人に対し決して多い定数とは言えない。
- 都市近郊の衛星都市的な自治体に比べ、筑豊地区の各自治体はいまだ産炭地からの復興や同和対策、過疎化や少子化、教育問題等々解決すべき課題は山積しており、その仕事量に対しても議員を減じられる状況ではない。

議員定数削減賛成の意見要旨

住民の意見を聞くべきとの判断

- 後援会の方数名に尋ねたところ、皆さん即答で2名程度減らすべきだ、多すぎるとの意見が出され、これが町民の声だとの判断から2名の議員削減を提案します。
- 全国平均、地域の事情などを勘案すると世の中の流れとして現状維持では許されない。
- 区長会総会で決められたことについてないがしろには出来ない。

職員定数関連や町立病院の 不要物品処分関連など条例一部改正

町職員定数変更による改正

教育委員会管轄の給食センターの調理・配送を外部委託したため、センターの町職員が10人異動することになり、町長事務局の職員と議会事務局の職員を増員することになりました。

事務量の増を緩和するため、町長事務局の職員を9人増やし210人に、予算決算常任委員会の新設、他市町村議会からの視察対応により事務量が増えた議会事務局の職員を1人増やし4人に改正しました。

町立病院の不要な財産 処分に関する改正



川崎町からの出資による地方独立行政法人川崎町立病院が保有する重要な財産が、業務を実施する上で必要がなくなったと認められる場合、その財産を処分しなければならないよう規定しました。

また、その重要な財産を帳簿価格50万円以上と定めました。

財産取得

小型動力ポンプ積載車2台購入

今回の購入により、すべての分団の消防車が新しくなりました。昨年度、更新のため廃車された消防自動車は、バンコク都に寄贈し、有効活用されています。

①購入分団

(1)第1分団(田原) (2)第5分団(島廻)

②購入金額

17,383,420円(2台)

③購入契約相手

(株)福岡トーハツ北九州営業所

④車輦納入期限

平成26年12月26日

⑤車輦内容

小型動力ポンプ積載車
・小型動力ポンプBー3級の性能
規格放水量1.13m³/min・/・0.55Mpa以上
高圧放水量0.78m³/min・/・0.8Mpa以上
・車体 本体形状 ダブルキャブ型・低床型
排気量 3,000cc 乗車定員 6名



請 願

「少人数学級推進(30人以下)の推進など定数改善及び義務教育費国庫負担制度2分の1復元」にかかる意見書採択の請願が出されました。

○請 願 者：向井厚子さん(川崎1656-3)

○紹介議員：千葉加代子、掛橋要一、伊藤英明、瓜野かをりの4名

全会一致で採択され意見書を提出しました。

予算決算常任委員会 初審議

平成26年度 一般会計補正予算(第1号)

なお、9月定例会議までに社会福祉協議会への委託事業等について、執行部が調査した結果を予算決算常任委員会で報告することとなりました。



歳出の主なものは

○臨時保育士の増に伴う賃金	171万円増	○臨時保育士の増に伴う賃金	171万円増
○人事異動等によるもの	1973万円減	○林道熊ヶ畑・安真木線開設事業に伴う用地立木補償費	200万円増
○議事録作成システム編集ソフト追加	62万円増	○かわさきまちプレミアム付商品券への助成金	107万円増
○田川地区中等教育環境検討に伴う負担金	30万円増	○De・愛施設駐車場整備の工事費	700万円増
○臨時福祉給付金システムプログラム作成委託料	286万円増	○都市計画変更図書作成業務の委託料	428万円増
○すみれ保育園大規模改修工事に伴う補助金	1億973万円増	○木造1戸建て住宅耐震改修への補助金	450万円増



平成26年度 特別会計補正予算

平成26年度 川崎町学校給食センター 特別会計補正予算(第2号)

補正前の額	補正額	補正後の額
6998万円	29万円	7027万円

平成26年度 川崎町住宅新築資金等貸付事業 特別会計補正予算(第2号)

補正前の額	補正額	補正後の額
1188万円	2万円	1190万円

平成26年度 川崎町国民健康保険事業勘定 特別会計補正予算(第2号)

補正前の額	補正額	補正後の額
4079万円	△304万円	3775万円

平成26年度 川崎町後期高齢者医療 特別会計補正予算(第1号)

補正前の額	補正額	補正後の額
2345万円	△462万円	1883万円

※金額については、千円以下を四捨五入しています。

平成26年度 第1回川崎町議会(4月会議)

議案一覧と賛否結果

議案番号	案 件 名	賛否の結果									
		小松	谷口	有田	西山	千葉	千住	榎谷	大井	櫻井	奈木
	予算決算常任委員会委員の選任について										

(同意) 簡易表決

平成26年度 第2回川崎町議会(6月定例会議)

議案一覧と賛否結果

議案番号	案 件 名	賛否の結果									
		小松	谷口	有田	西山	千葉	千住	榎谷	大井	櫻井	奈木
報告第1号	専決処分の報告について(川崎町税条例等の一部を改正する条例)										
報告第2号	専決処分の報告について(川崎町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)										
報告第3号	専決処分の報告について(平成26年度川崎町学校給食センター特別会計補正予算(第1号))										
報告第4号	専決処分の報告について(平成26年度川崎町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号))										
報告第5号	専決処分の報告について(平成26年度川崎町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第1号))										
報告第6号	平成25年度川崎町繰越明許費繰越計算書について										
議案第1号	川崎町固定資産評価委員の選任について										
議案第2号	川崎町職員定数条例の一部を改正する条例について										
議案第3号	川崎町消費税及び地方消費税の税率改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について										
議案第4号	地方独立行政法人川崎町立病院に係る重要な財産を定める条例の一部を改正する条例について										
議案第5号	財産の取得について(川崎町消防団小型動力ポンプ積載車購入)										
議案第6号	平成26年度川崎町一般会計補正予算(第1号)について										
議案第7号	平成26年度川崎町学校給食センター特別会計補正予算(第2号)について										
議案第8号	平成26年度川崎町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第2号)について										
議案第9号	平成26年度川崎町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)について										
議案第10号	平成26年度川崎町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について										
請願第1号	少人数学級の推進など定数改善及び義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書採択の要請										
	川崎町農業委員会委員の推薦について										
発委第1号	川崎町議会の議員定数を定める条例の一部を改正する条例について										
要望第1号	川崎町議会の議員定数削減に関する要望書について										

賛否表の表示は、○賛成、●反対、㊦欠席、㊧退席となっています。

※簡易表決とは…あらかじめ議員全員の賛成が見込まれる場合に、議長が賛成者の起立を求めず「異議ありませんか」と諮ることにより可否を問う採決方法です。

一般質問

一般質問とは、定例会議において、各議員が住民の代表として、行政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずねることです。

よりよいまちづくりをめざして

町政を問う！！



瓜野 かをり 議員

問 認知症患者の徘徊対策を

答 行政区で見守っていく

議員 厚生労働省は、全国100カ所で認知症患者の初期段階の高齢者を対象とした専門家チームを設けるモデル事業を盛り込んで、本格的実施に向け課題や効果を検証する考えです。厚生労働省によると、認知症の高齢者は年々増加傾向にあり、25年には470万人に達する見通しで、普段とちがうと感じた段階で相談に来てもらえるように、広くPRすると強調しています。

また、認知症の行方不明者は、2012年から715人増の1万322人と報道があり、警察庁では不明者に的を絞った対策を始めました。新聞報道によると2013年に認知症が原因で行方不明になった人は、九州圏では、711人で、うち64人の方が死亡しています。



認知症での徘徊については警察だけでは限界があり、地域社会全体での取り組みが最も重要で、早期発見、保護に向け各自治体が独自の対策をしています。

本町においても、認知症患者の徘徊については大きな問題です。特に、家族の負担は大変です。住民全体でサポートするシステム作りは必要と考えますが、町長の見解をお尋ねします。

町長 川崎町での認知症患者の現状は、4月30日現在で要介護認定者1613人のうち、認知症のある方が886人です。また、在宅の方で徘徊して困っているとの相談は今のところありません。

今後も地域包括支援センターを中核として、医療、介護、福祉、地域など関連機関が連携して、きめ細かい体制を整備していきます。

問 難病患者に幅広い支援を

答 今後とも県と協議して支援する

議員 難病患者の医療費助成が変わり、厚生労働省は制度を

見直します。対象となる病気を現在の56から300に増やすとしています。広く薄く支援する制度ですが、自己負担の割合が現行の3割から2割に引き下げられます。その上で自己負担額の上限月額を見直し、現行の月0円から3万4650円を1000円から3万円とします。

しかし、難病患者は限度額を生涯払い続けなければなりません。限られた財源の中で幅広い支援が実現できる対策をお尋ねします。

町長 難病医療法案が5月に参議院で可決成立しました。42年ぶりの抜本改革です。施行期日は平成27年1月1日となりますが、制度は医療費が高額の特定期間患者に対し、国と県で支援する制度です。

平成25年3月末現在での特定疾患医療受給者証の交付件数は、福岡県全体で3万3000件、田川管内でも907件、川崎町では96件です。今後とも県と協議して支援していきたいと思っています。



千葉 加代子 議員

問 地域猫、あすなろ猫の周知を

答 広報等に努める

議員 環境省は、6月3日引き取り手がなく年間約16万頭が処分されている犬や猫について、将来的にゼロにする行動計画を発表しました。

福岡県獣医師会は、殺処分されている不幸な猫を減らすため、2016年6月から飼い主のいない猫に対し、不妊、去勢手術の支援事業をしています。本町での取り組みはありますか。

町長 一番大事なのは、飼い主がきちんと責任を持つ、捨てないということだと思います。

やむなく野良猫になった場合、福岡県も殺処分を減らしていく方針ですので、獣医師会と協議をして、町でも不妊手術をやったりする制度をつくっていくことが大事です。犬についても同じですので、広報等に努めていきたいと思っています。

議員 筑豊地区は今年、不妊手術を年間180頭予定しています。広報紙にも掲載し、ペット掲示板を設け、迷い込み、譲渡等に対応するようお願いしたいのですが。

町長 広報することは大事です。で、そのようにしていきたいと思っています。



問 高齢者見守りネットワークの構築を

答 構築しながらやっていきたい

議員 高齢者見守りSOSネットワークは、県では6市と福岡市南区が取り組んでいます。事前登録制度を利用して、徘徊で行方不明になったときに、携帯やEメールを使うことで、情報伝達に予算がかからないこと、手軽に個人情報に個人に送れるなどのメリットがあり、早期発見、保護に効果があります。本町でもぜひ検討してください。

町長 見守りについては、協力事業者等の協定が終わり、見守りをやるようにしますが、ネットワーク等が具体的に確立されていません。見守りのネットワークを構築しながらやっていきたいと思っています。

議員 認知症のある高齢者がかかる家族のケアが必要ですが、平成47年には全世帯の4割超が65歳以上の世帯主となります。個人情報保護を理由に身元不明者の詳細な情報を公表しない自治体もあります。命に関わる場合は、詳細な内容を公にすべきだと思いますが本町では、開示を行っていますか。

町長 家族に対するケアは、平成25年から包括支援センターで認知症患者等の支援相談に対応しています。それに加えて認知症サポーター養成講座、地域での予

防介護教室を通じ見守りの応援者を増やす必要があります。個人情報の開示については、緊急かつやむをえない場合、家族の了解をもらって開示をするようにしています。

問 学びの共同体の導入を

答 今後十分に検討していきたい

議員 いじめや不登校、学級崩壊や校内暴力といった困難を抱える学校を解決するために実施されているのが「学びの共同体」です。問題行動も不登校もほぼゼロになったということです。学力だけでなく、生徒指導の面でも劇的な効果を上げております。現在、全国で1割もの学校で実践されています。教え合い、学び合い、聞き合い、それによって友情が深まり絆が生まれ、学校が楽しくなる。多額の予算をかけずに、子どもにも教師にも良い取り組みであり、本町の学力向上につながるものです。先行して成功している学校に研修に行っていただき、実践できる学校から始めていただきたい。

教育長 本町におきましても、ペアや少人数グループの教育指導が有効と考えられるものについては、各学校で実施しているところ。全国での実践校の事例の調査等について、今後十分に検討してまいりたいと考えております。





問 ごみ処理施設関連の新聞報道は、事実ですか？

答 事実ではない！

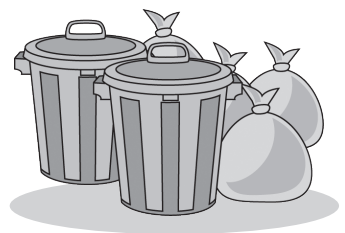
議員 ごみ処理施設関連について、町長は私たち議会に民主的な手続きで何度も説明をし、理解を求めてきました。しかし、新聞報道によりますと現実とは、全く異なる報道が掲載されています。

伊藤市長が組合長を辞職し、小田町長が組合長になってから独断で組合を解散し、それぞれ単独で、ごみ処理施設を建設する事になったのか、お伺いいたします。

町長 伊藤組合長は、候補地だった岩鼻伊加利地区を断念し、ごみ焼却施設の候補地が無いことなどの理由で組合長を辞職、その後、正副組合長会議を経て私が組合長に選任されました。

その間、色々な経緯があり、組合議員の中からも、組合だから意思決定という問題が生じる、単独でやることを考えるべきではないか、などの意見が出されました。

最終的に下田川の議員は協同建設に反対しているなどの理由で、糸田町・福智町が組合脱退を表明し、川崎町も親議会の同意を経て脱退し、単独建設へ向け現在に至っています。



問 協同建設に比べ建設費は、高くなるのか

答 15億程度で、出来ている所も有る

議員 報道だと、建設費35億円以上、20年分の維持補修費、人件費25億以上増えるという試算が何の根拠もなしに出ています。川崎町単独の建設費の試算をお伺いいたします。

町長 地域計画で環境省に申請した予算は、マックスで多めに見えています。最終的には、設計や見積もりなどをやってみて入札しなければ正しい金額は分かりません。人口2万8千人位の町で昨年度から稼動している最新設備の処理施設でも、15億程度で建設されています。

建設費を安く、しかも透明性のある入札にするため国の定めた基準より厳しく、町独自の基準を設け「公募による一般競争入札」が一番安く建設できると思います。

問 住民監査請求の対応は

答 法律に基づいて処理しました

議員 住民監査請求の対応と結果を説明して下さい。

町長 住民監査請求は、住民が監査委員会に行うもので私が答えるものではありませんが、内容と監査委員の判断は次のとおりです。

①議会の議決を得ないで土地を取得したことは違法である。
○議決に必要な事項は、町の条例により、金額700万以上・面積5000㎡以上と定められ、いずれも該当していないため①の指摘にはあたりません。

②議会の議決を得ないで策定した地域計画に基づき土地を取得した事は違法である。

○地域計画は、議決された川崎町総合計画や川崎町一般廃棄物処理基本計画に基づいて策定され、国も承認しています。

③町長として組合長として責任放棄、閉鎖的な行政運営と議会軽視、財政への超過負担、計画の進行推進、開かれた健全町政、それぞれについて不当性が見うけられます。

○不当性はありません。

住民監査請求は、結論として、ごみ処理施設建設差止めを求めるという内容でした。

それぞれについては、監査請求の対象にならず、政策的なことは、選挙によって選ばれた町長含め議員が行なうようになっています。

「これが法律です」

※紙面上、全文掲載する事が出来ません。詳しくは、川崎町ホームページの議事録をご覧ください。



問 暴走・暴力を許さぬ町に

答 対策協議会を立ち上げる

議員 最近、バイクの騒音がやかましく「眠れない」「憂鬱になる」などの相談を受けますが、町に相談はないですか。本町では、平成13年に暴走族根絶推進条例を作っています。事業の実施状況はどうなっていますか。町の責務、根絶推進協議会の活動状況について説明を求めます。

また、平成18年に安全に暮らせるまち条例を作り、暴力追放対策を実施すると決めました。更に、平成22年、町内で発生した拳銃発砲事件を機に暴力団排除条例を制定し決起集会も開催しました。小田町政になってから一度も開催してないが、なぜですか。

町長 苦情は数多く寄せられています。現状の対策は広報活動に止まっていて、今後、警察と連携して「暴走行為自体が犯罪」との認識のもと根絶に努力します。

暴力団追放決起集会は9月28日に実施する予定です。また、暴力団だけでなく、それに近い人達からの行政暴力もあっていました。

議員 暴走族は調査すれば、どこ誰が特定は可能です。

根絶推進協議会を開催し、防犯カメラ設置、警告、逮捕など毅然として対応して頂きたい。

町長 これまで根絶推進協議会を開いていませんでした。今後、警察、議員を含めて対策協議会を立ち上げ、徹底的に対策に当たりたい。

問 民地の災害復旧に助成を

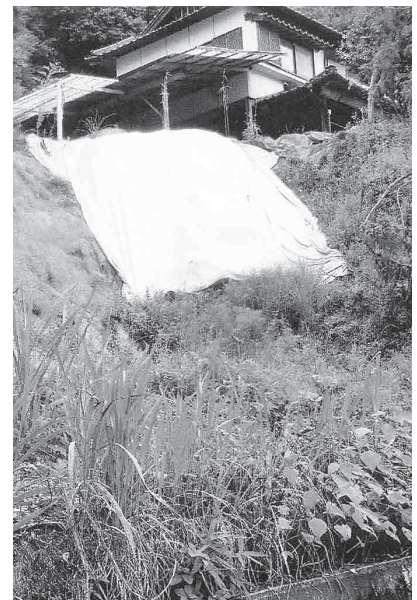
答 町単独では困難

議員 一昨年大雨で町道岩鼻線の同じ箇所が2回も崩れ復旧工事をしました。工期も何度か延びましたが、原因は。

また、個人の土手復旧工事には財政支援がありませんが、補助すべきではないですか。

町長 復旧工事は、大口径ボーリングと言う特殊工法をとりましたが、九州北部豪雨、東日本大震災の影響で、業者がいない、資材がない、重機がないなどで工期が延びました。3月31日を5月末までに1回工期延長しています。

個人財産(民地)の復旧には補助制度がなく町単独では財政的に無理があります。国や県に働きかけてみます。



◀個人所有地の災害現場

問 道徳教育の推進を

答 指導を継続する

議員 本町の道徳教育の現状と課題について所見をたずねます。

教育長 道徳は正式教科でなく、学習指導要領で週1回の指導実施が決められています。

今年度、「心のノート」から「私たちの道徳」に改められましたが、道徳性の顕著な向上には至っていません。今後も道徳教育指導を継続していきます。

問 小中一貫校導入研究を

答 検討委員会設置を検討する

議員 組合立の中高一貫校を作るより、町立の小中一貫校を作るほうが現実的ではないですか。研究してみたいかがでしょう。

教育長 小中一貫校は文部科学省が特例として導入している制度です。本町でも児童生徒数の動向を踏まえ、適正な教育環境整備について検討する必要があると考えています。



問 池尻小学校校舎の改築を

答 大規模改修で

議員

池尻小学校は2回改築が行われています。最初は昭和26年、私が小学校4年の時に、川崎小学校から池尻小学校に移転をしてきました。当時は平屋の木造校舎でありました。

2回目が昭和57年に現在の鉄筋コンクリートに改築され、すでに32年が経過しています。

現在、外壁にひびが入っていますし、また老朽化も進んでいます。安全面についてもどのようになっていますか。

町長

長年の経年劣化で雨漏りも始まっています。外壁もご覧の通り黒くカビみたいなものが生えて汚い状況であります。

耐力度テストは、国の基準である4500点を大きく上回って6200点という結論がでました。改築の補助金が文科省から出ませんので、危険校舎として大規模改修を考えています。

問 池尻中学校の改築を

答 大規模改修で

議員

昭和31年と昭和54年の2回改築を行っています。昭和31年当時、川崎中学校の生徒数は1800名程度のマンモス学校でありました。

そのような状況でありましたの

で、池尻中学校が開校したわけであります。

現在、山の方にありますので、冬期になると、暗くなるのが早いので女生徒の帰宅が心配であるし、また老朽化も進んでいますので、町の方に移転をしていただきたい。

町長

平成22年度に耐震第2次診断を実施をし、文科省の耐震指数がis値0.7という基準で、基準を上回ってis値0.79という結果がでました。改築自体は、だめという国の方針であります。

経年劣化により、雨漏りの防止、外壁の改修、内装、トイレ等大規模改修が現実的と思っています。



問 人口減少社会にしない施策を

答 定住人口推進の努力をしております

議員

2010年以降、国の人口を見ますと、毎年およそ25万人ずつ減少しており、まさに人口減少時代が、本格的に始まったと言えます。人口減少の速度は今後さらに加速度を増し、2012年の国立社会保障人口問題研究所の推計によれば35年後の2048年には、1億人を割り込み2060年には8674万人になるとされております。この間、平均すれば毎年83万人の人口が減少し、減少率は平均で0.78%と成ります。

川崎町の現在の人口は1万8498人です。毎年、過去5年間のデータを見ますと200人以上減少しております。今後、高齢化も進み、さらに人口減少が予想されます。

人口減少を止める施策をおきき致します。

町長

国のいろいろな対策を積極的に活用しながら、対策を図っていかなければならないと思っています。

その1つ目として、町営住宅長寿計画によって川崎町の住宅を立て直していこうと思います。すでに豊州、大峰団地については、今年から改善が始まります。それによって町外から多くの人口が川崎町に流入します。

2つ目は住宅の定住策として町有地を買った方々に用地費の20%の奨励金を出しています。

その他、太陽光パネルの設置補助金、浄化槽の設置補助金等を出して流入人口推進の努力をしております。

問 福岡県の教育方針について

答 教育力向上プロジェクト推進

議員

5月19日付の教育新聞に次の様なことが書かれておりました。平成26年度福岡県市町村教育委員長、教育長会議が4月18日県庁講堂で開かれ58市町村の教育委員長と教育長が出席とありました。

この中で県教育長から3項目について提唱されました。1項目は学力、体力の向上。2項目は福岡らしい教育のあり方。3項目は子ども達をきたえ、ほめることを柱として位置づけるとあります。

この3項目について、どの様な教育方針で具体化されるのか教育長におたずね致します。

教育長

川崎町におきましては、これらを受けて各学校における学力向上委員会の設置、体力向上プランの策定と推進、町の学力向上対策委員会の設置と学力向上の推進、教師の授業力の向上の取り組み、教育力向上プロジェクト推進校の指定など、さまざまな施策を講じているところであります。



▲池尻小学校





樋口 秀隆 議員

問 ゴミ処理施設の単独設置の再考を

答 老朽化した施設の建て替えは急務

議員 日本人の人口減少に歯止めがかかりません。「日本創成会議」という政策提言機関の発表によると、川崎町は「消滅する自治体」の一つに数えられています。

田川全体で人口減が進み、財政状況が悪化し減少しようとしている中では、広域でのゴミ処理施設建設の道以外は考えられません。今こそ再考すべき時であります。

町長 人口が減少していくことは避けられませんが、だからといって焼却場が要らないということにはなりません。

今となっては、老朽化した施設をこのまま先延ばしには出来ない状況であり、最終処分場もあと3年しかもたず、新施設の建設は急務であります。

問「一般廃棄物会計基準」の存在を知っているか

答 よく知らない

議員 地方自治体がゴミ焼却施設等の建設に際し、試算をする手引きのために、環境省大臣官房廃棄物リサイクル対策部が、特に焼却のみに頼らないで循環型の処理施設を導入するにあたっての試算をするための「一般廃棄物会計基準」というものを提示しています。その存在を知っていますか。

町長 よく知りません。

環境施設整備課長 存じ上げていません。

問 今年の夏休みの小学校プール開放をやめないよう望む

答 監視体制を確保できず開放できない

議員 毎年の夏休みには小学校のプールを開放して、子供たちがその利用を楽しみにして来ましたが、今年は給食センターの調理等を民間委託した関係で、監視員の確保が出来ずやめてしまうと聞きました。

子供が水に慣れる事は教育上の観点と、水難事故の予防にもなり、必要度は高いと考えられます。何とか再考出来ませんか。

町長 夏休みには給食センターは学校給食を出さないの、これまではその間の正規職員の吏行処置としてプールの監視にあたってもらっていました。

今年はセンターの業務を民間に委託したので、その組み替え処置が出来なくなり、また安全確保の措置の問題もあり止むを得ず夏休みのプール開放を閉ざすことになりました。

田川郡内の他の町村も同様の状況であり、監視体制の整った町民プールの利用を推奨しています。



▲小学校のプール



有田 浩二 議員

問 観光物産課を設置する考えは

答 観光中心の課を設置していきたいと思っている

議員 町長は就任以来、観光に力を傾注されて、野菜レストラン穀×極、並びにパン博等には随分力を入れておりますが、国道322号線沿いもまだ開発の余地もございます。観光農園等を町で設置して、川崎町の観光物産を拡めていく事について、観光物産課という課を設置する意思がありますか。お尋ねいたします。

町長 今、川崎町では農商観光課では農林業に関する事、それから商工業に関する事、と同時に観光ということ幅広く扱っております。

近年、観光に係る比重が随分大きくなっております。そういう意味で、観光課、もしくは観光物産課、こういう課を設置したらどうかという事ですので、私自身もそういう見を持っていますので、是非そうい

うふうにしていきたいと思っております。

現在、国交省と協議をしております農業と観光の町づくり。これを5年かけてやる予定をしております。

そういう意味では観光課が中心になると思いますので、事務改善が終了しましたら、そういう課の設置をしていきたいと思っております。



ピヨッ

町内かわらばん Nesli先生の英会話教室

6月7日から7月26日まで毎週土曜日13時から、川崎町コミュニティセンターで女性のための英会話教室が開催されました。受講者は24名です。
Nesliさんは、イギリス出身です。



▲講義中のNesli先生

講師のNesliさんにインタビューしました。

Q 日本にきてどのくらいですか？

A 1年5ヶ月です。

Q 日本に来たきっかけは？

A 夫(スペイン人)が、日本文化が好きで、合気道、弓道、アニメや漫画にとっても興味を持っていて、日本に来るのが夢でした。将来、イギリスやスペインのカルチャースクールで合気道等の指導をしたいと思っています。

Q 川崎町の印象は？

A 子どもも大人も温かくて、無邪気でもとても親切にしてくれるし、川崎の人は大好きです。

もっと知りたい 委員会レポート



委員会の活動状況を 報告します



住民参加のまちづくりについて先進事例を視察



▲谷井宗像市長との会談

住民参加のまちづくりについて先進的な取り組みをしている宗像市へ視察を5月8日に行いました。

まず、視察に先立って平成26年4月の選挙で連続3期目の市長に当選された谷井市長との会談を市長室において行いました。

その後、議会の委員会室において「宗像市のコミュニティづくり」のDVDを視聴後、宗像市が市民参画、協働及びコミュニティ活動の推進に関する条例を制

総務常任委員会

定し、コミュニティを中心とした住民参加のまちづくりに取り組んでいる内容について説明をいただきました。

宗像市では、合併前から旧宗像市において小学校区単位による地域コミュニティを中心に、住民と行政の協働、住民参加によるまちづくりを進めてきました。

合併後の平成17年以降は、合併特例債を活用して市内全域にコミュニティセンターを建設するとともに、市内各12カ所のコミュニティ協議会に対し、地域住民が主体となり、地域の実情に合わせた活動を支援するための「まちづくり交付金」を交付して、住民参加のまちづくりを支援しています。

まちづくり交付金制度導入のメリットとしては、地域の実情に応じた事業を地域の権限で実施できる。人員不足により行政区単位での実施が難しくなった事業や活動が、小学校を単位としたコミュニティ協議会で実施することによって、より活発になったという説明がありました。



元気に遊べる新園舎を現地視察

4月15日、民生所管の同和保育所、隣保館、川崎中学校の現地視察を行いました。

同和保育所は、平成26年3月に新園舎が竣工しました。

前園舎では、大型遊具も少なく広いグラウンドもなかったのが、元気に遊ぶ園児たちはとても楽しそうでした。

園舎玄関を入ってすぐに事務室があり、カメラ等で防犯体制もきちんと整っていました。前園舎は2つに分かれており、渡り廊下でつながっていたのですが、新園舎は1つにまとまり、どの部屋も行き来しやすくなり、とても利便性が良くなったと伺いました。ランチルーム、広い遊戯室も完備され、0、1歳児の幼児クラスには床暖房も整備され、とても充実していました。

隣保館では、料理教室、書道教室、識字学級など、

民生文教常任委員会

色々な取り組みが充実しており、頻繁に隣保館が利用されているとのことでした。研修室も1階2階とあり、それぞれの用途に合わせて充実した内容で使用されていました。



▲同和保育所の園児

最後の川崎中学校では、学校の現状を伺いました。昨年、PTAの要望で3クラス編成になった今の2年生は、なぜか2クラス編成に戻っており、このことなどを協議した上、他市町村に比べると教員数が学校全体で2、3人少ないので、生活指導もしにくいのではないかとという声が上がりました。

あと、個人情報漏えいを取りざたされている中、本町の教員たちはパソコンの配備が行き届いておら

ず、自前のパソコンを学校に持って来て、生徒の情報管理を行い、そのパソコンを家に持ち帰って他の機器と接続するような状況が続いているので、心配だという懸念の声を聞きました。

それと夏季の窓の締め切りの対策もされておらず、予算措置もされていないので、至急検討が必要であるという意見が出ました。



工事検査事務について調査

現在本町には、嘱託の検査員1名、技術職の課長及び係長の中から任命される分任検査員8名がいます。検査基準は、福岡県工事検査基準の規定を準用しています。

検査員の職務として、厳正かつ公平に検査を行い、合格または不合格の判定を行い、検査員の指示権限としては、工事の施工に関して監督員または請負者に対し、検査の結果、不合格の場合は期間を指定し工事の手直しを指示することができます。検査が終了したときには、直ちに町長にその結果を報告しているとのことです。

委員会からは、工期の遅れが目立つため、今後も工期設定においては、社会の情勢を考慮して余裕ある工期の設定をするよう再度指摘しました。

住民の声を取り入れた計画策定を要望

平成17年から平成26年までのまちづくりの指針を定めた、第4次総合計画に基づいた、農林業、商工業、観光開発に関する調査を実施しました。

農林業では、認定農業者制度の促進、農村と都市の交流促進、農産物のブランド化、販路拡大の推進、女性農業者の経営参画の推進、力強い農業構造を確立するため農地集団化事業の推進、多様な森林づくり、



ごみ処理施設の先進地へ視察

平成26年5月14日から16日の日程で、岐阜県山県市と飛騨市のゴミ処理施設の研修視察を行いました。山県市クリーンセンターが平成22年4月より稼働、飛騨市クリーンセンターが平成25年4月より稼働しています。

飛騨市クリーンセンターについては、本町と人口・施設の規模などが似ており、大変参考になりました。焼却施設の建設費が15億～16億程度と想像してい

建設産業常任委員会

水源かん養機能の保全に取り組んでいます。

商工業では、共存・共栄の商業環境づくり、集客イベントの開催、企業誘致の推進、地場企業の育成に取り組んでいます。

観光開発では、地域資源の有効活用、広告宣伝の充実、広域観光の推進、野菜レストランの建設を行ってきたことの報告を受けました。

委員会からは、平成27年度からの第5次総合計画の策定に向け、これからの10年がどのようになって行くか、住民の声も取り入れ、また県政とも連携をはかり今後の計画を立てていただけるよう要望しました。



▲安宅地区の棚田

ごみ処理施設に関する調査特別委員会

たよりも安く驚きました。今回の研修で得たことを今後に生かして、安心安全なゴミ処理施設建設に役立てたいと思います。



▲山県市での研修

今回の主人公



森安行政区
立山フミ子さん

今回の表紙は、6月22日に行われたカローリング大会を取り上げました。

その中で、素敵な笑顔が印象的な立山さんにお話を伺いました。

 カローリング大会に参加したきっかけは

森安行政区の役員の方に誘われて、昨年も参加しました。行政区からは、1チーム5名で、4チームの参加です。

参加されてどうでしたか

たくさんの方たちと交流できて楽しかったです。登山で人々と触れ合うように、挨拶を交わし、出会いを大切にし、いいものをたくさん吸収できるので、スポーツのイベントは大好きです。

🌸 今後挑戦したいことは

始めたばかりで何もわかりませんが、囲碁を覚えたいと思います。

卓球や「サンサンひまわり」のメンバーで身体を動かすことが大好きな立山さんは、池尻小学校のアンビシャス広場のボランティアとしても活躍されています。

忙しい中での、
ご協力ありがとうございました。

議 会 日 誌

4月	1日	議会運営委員会
	4日・23日	全員協議会
	4日	第1回川崎町議会（4月会議）
	常任委員会	
	15日	民生文教委員会
	21日	総務委員会
	特別委員会	
	9日	議会だより編集委員会
17日	議会だより編集委員会	
22日	議会だより編集委員会	

5月	8・26日	全員協議会
	27日	議会運営委員会
	常任委員会	
	1日	建設産業委員会
	9日	総務委員会
	12日	民生文教委員会
	20日	建設産業委員会
	23日	総務委員会
	30日	建設産業委員会
	研修視察来町・議員研修等	
22日	徳島県勝名地区町村監査委員 連絡協議会視察来町	

6月	3・6日	全員協議会
	9・23日	議会運営委員会
	第2回川崎町議会（6月定例会議）	
	3日	本会議
	4日	委員会
	5日	議会運営委員会
	6日	本会議
	10日	予算決算委員会（補正予算）
	11日	本会議（一般質問）
	12日	本会議
	常任委員会	
	4日	建設産業委員会
	10日	総務委員会
	18日	民生文教委員会
	特別委員会	
	6日	議会だより編集委員会
	研修視察来町・議員研修等	
	24日	東京都あきる野市議会視察来町
	25日	佐賀県太良町議会視察来町

編集 後記

梅雨時となると何となく心が憂鬱な気持ちになりますね。この時期に咲く花の一つで菖蒲という花をご存知でしょうか。菖蒲といえば、一般的に花をつける花菖蒲で花言葉は「情熱、やさしい心、忍耐、信頼」といった言葉は私自身も好きです。私も四季折々の植生など、新しい発見や感動を味わっています。



- | | | | | | | |
|-------|--------|-------|-------|-------|-------|------|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 | 議長 |
| 掛橋 要一 | 千葉 加代子 | 千住 幹雄 | 樋口 秀隆 | 有田 浩二 | 小松 孝一 | 見月 勸 |
- 【議会だより編集特別委員会】